

ディスプレイの色で
アラートサウンドで

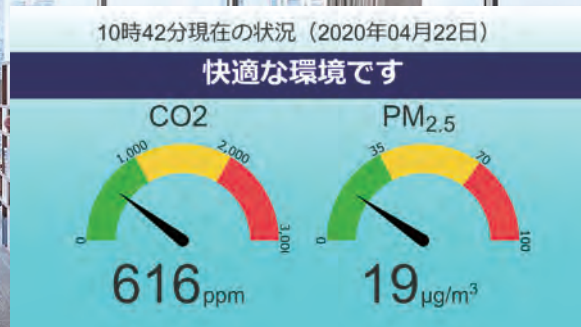
快適なオフィスの空気換気の
ベストタイミングをお知らせ

二酸化炭素(CO₂)
1,000ppm以下

浮遊粉じん(PM)
0.15mg/m³以下

温度
17℃~28℃

相対湿度
40%~70%



センサーボックスで 室内空気環境モニタリング

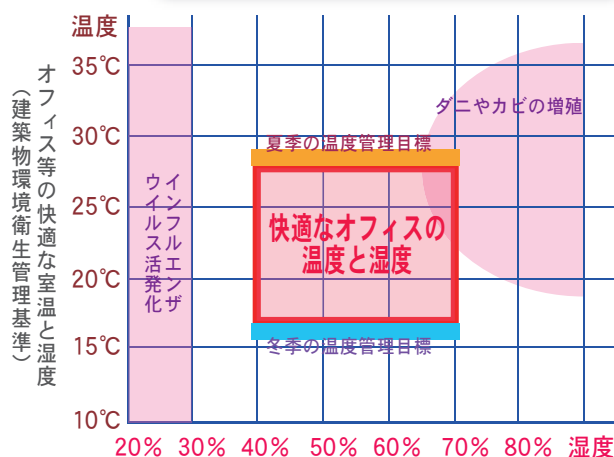


建築物衛生法が定める「建築物環境衛生管理基準」(厚生労働省)では快適な居室環境を実現するため、二酸化炭素(CO₂)や浮遊粉じん(PM)の基準値が示されています。

ウイルス等の感染症予防のためにも浮遊粉塵粉じん(PM)濃度の低減、一定な湿度の保持が重要とされています。



施設管理者の方も遠隔からデータの確認ができます



製品仕様

基本機能	
電源	Micro USB 5V
消費電力	最大 4W 程度
通信	Wi-Fi
通信設定	スマートホンから設定
温度	-40 ~ +85 °C
湿度	0 ~ 100%
気圧	300 ~ 1,100 hPa
応答時間	1 秒
センサー寿命	約 2 年

二酸化炭素 (CO ₂)	
測定レンジ	0 ~ 5,000 ppm
起動時間	3 分
応答時間	120 秒以下
センサー寿命	約 5 年

浮遊粉じん (PM)			
測定項目	PM1	PM2.5	PM10
測定レンジ	0 ~ 500 $\mu\text{g}/\text{m}^3$		
センサー誤差	$\pm 10\%$ @100 ~ 500 $\mu\text{g}/\text{m}^3$		
	$\pm 10\%$ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ @ 0~100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$		
応答時間	1 秒以下		
センサー寿命	約 2 年		

設定値を超えた場合の アラート機能

- ・表示モニターの色変化
- ・アラート音
- ・指定アドレスへメール送信
- ・スマートホンへプッシュ通知(パッシュ)

運用(目立たない機能)

- ・LEDランプ消灯機能
- ・ファン停止機能

設置方法

- ・スマートホンでWi-Fi設定
- ・測定したい場所に固定
- ・電源を入れる

固定方法

- ・マグネット(必要に応じて移動可能)
- ・跡が残らない剥がせる両面テープ



二酸化炭素 (CO₂)

「建築物環境衛生管理基準」(厚生労働省)では室内の二酸化炭素(CO₂)濃度を1,000ppm以下に保つよう管理基準が示されています。二酸化炭素濃度が高くなると集中力が欠けたり、眠気に襲われることが分かっています。快適な環境空間を維持するためにオフィスの空気のコンディションなどを常にモニターしながら、必要なタイミングで換気することが重要です。

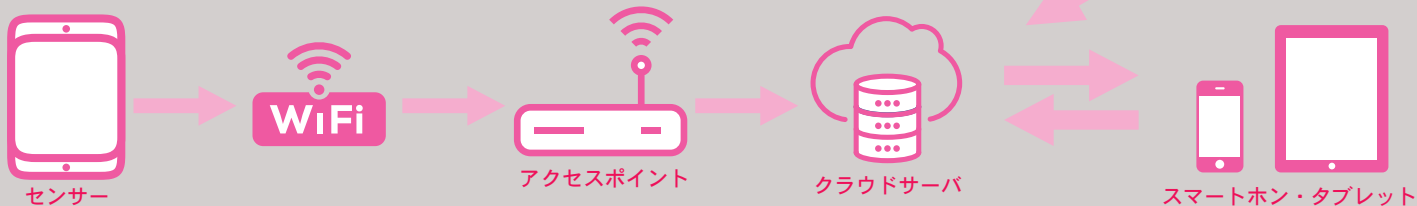
浮遊粉じん (PM)

浮遊粉じん(PM)は その大きさの違いでPM10やPM2.5などに分けられます。室内の浮遊粉じん濃度(PM10相当)は「建築物環境衛生管理基準」では0.15mg/m³以下に保つよう指針として示されています。またPM2.5は環境大気環境基準が定められており、1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下とされています。

温度・湿度

オフィスにおける温度・湿度は快適さを左右する重要な要素です。暑かったり、寒かったりすると仕事の効率が低下してしまうことは多くの人が実感されているところです。また、冬季はインフルエンザなどの感染を防止するために湿度を40%以上に保つことが有効であり、粉じんを抑えることと合わせてウイルス対策の役に立ちます。

データ収録方法



センサーデータの電送間隔は1秒~1分の間で任意に設定可能



グリーンブルー株式会社

GREEN BLUE

横浜本社

〒221-0822 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-14-12
TEL:045-322-1011 FAX:045-322-3133

東京本社

〒144-0033 東京都大田区東糀谷5-4-11
TEL:03-3745-1411 FAX:03-3745-1413

<http://www.greenblue.co.jp>
e-mail : sales@greenblue.co.jp



グリーンブルー 室内



装置の仕様は予告なく変更されることがあります